

小学校3年生「ここだけは、見たり体験したりしてみよう。」

	しら ないよう 調べる内容	気づいたこと（文や絵で簡単 ^{かんたん} に）
<p>と 問1</p>	<p>音がどこから聞こえてくるのか、体験^{たいけん}してみよう。</p>	<p>音は見えない。だが、音の出た方向や距離感で、音の聞こえる場所がだいたいわかる。どこかわからない場合は、音のする方向に耳を近づければ、正確にわかる。</p>
<p>ば 場 所</p>	<p>1階 生命の科学 「サウンドもぐらたたき」 5分</p>	
<p>と 問2</p>	<p>まっくらな所^{ところ}では、人は何をたよりに行動するのだろうか。</p>	<p>手や足から伝わってくる触った感じをたよりにしている。 目に光が入ってきて、物が見える。暗闇では光がないため、物を見ることができない。 暗闇体験では、光がないため、目が使えず、手や足でさわって、その感覚をたよりに進んでいく。</p>
<p>ば 場 所</p>	<p>2階 感覚の国^{くわんかく} 「暗闇体験^{くらやみたいけん}」 10分</p>	<p>目の見えない人の気持ちがわかる気がした。</p>
<p>と 問3</p>	<p>光は、物（鏡^{かがみ}、ガラス、レンズ）に当たると、どのように進むのだろうか。</p>	<p>何もないとまっすぐ進む。 物があると、まっすぐには進まない。 光は、まっすぐに進む性質がある。 光を通す物にななめに当たると、そこで光は曲がって進むようになる。（くっせつ） レンズでは、光を集めたり、ばらけて虹色になったりする。</p>
<p>ば 場 所</p>	<p>2階 感覚の国^{くわんかく} 「光の進みかた^{すす}」 10分</p>	
<p>と 問4</p>	<p>音が響く部屋と響かない部屋^{へや}とでは、どんな違いがあるのだろうか。</p>	<p>響く部屋は、かべが硬くて、音が反射しやすい。真ん中にある丸くてかたい金属の半球も反射して音を響かせやすい。 響かない部屋は、かべがやわらかくふわふわしていて、音が吸い取られやすい。</p>
<p>ば 場 所</p>	<p>2階 音の国^{ねのくに} 「音が響く部屋^{ひび}」（残響室） 「音が響かない部屋^{へや}」（無響室） 10分</p>	

しら ないよう 調べる内容		気づいたこと(文や絵で簡単に)
<p>とい 問5</p> <p>音が出ているときの、太鼓や弦のようすは、どうなっているのだろう。</p>		<p>弦や太鼓の表面が揺れている。 音が大きいほど、揺れも大きい。</p>
<p>ばしよ 場所</p> <p>2階 音の国 「音と振動」 10分</p>		
<p>とい 問6</p> <p>同じ温度の時、アルミニウムと木の玉とでは、触った感じが違うのはどうしてだろう。</p>		<p>同じ温度でも、木の方が温かく感じる。 それは、熱の伝わり方がちがって、鉄の方が熱が伝わりやすいからだ。鉄の方が私たちの手の熱を早く吸収してしまうため、冷たく感じる。それに対して、木の方は熱が伝わりにくく、手の熱をゆっくり吸収するため、手の熱が残っていて温かく感じる。</p>
<p>ばしよ 場所</p> <p>2階 熱の国 「暖かい玉冷たい玉」 5分</p>		
<p>とい 問7</p> <p>水ロケットを飛ばしてみよう。 飛ばす力のもとになる物は何だろう。</p>		<p>空気や水をぎゅうぎゅうにつめて、一気に吹き出させると、吹き出した物の反動で、ロケットが飛ぶ。 むずかしくは、作用・反作用と言う。水や空気を吹き出すことを作用とすると、ロケットが飛ぶことが反作用になる。作用した力の分だけ、反作用の力が働く。</p>
<p>ばしよ 場所</p> <p>1階 乗り物とロボットの科学 「ロケット」 10分</p>		
<p>かんそう 感想</p>		